

2016/17インターナショナル・ウールマーク・プライズ優勝者決定  
メンズウェア部門ではコットワイラーが、  
ウィメンズウェア部門ではガブリエラ・ハーストが受賞



(写真左：コットワイラーのベン・コトレル、中央：ガブリエラ・ハースト、右：コットワイラーのマシュー・デインティアー)

ザ・ウールマーク・カンパニーは、2016 / 17 インターナショナル・ウールマーク・プライズ(以下 IWP)の決勝大会が 2017 年 1 月 23 日に開催され、メンズウェア部門ではイギリス諸島代表のコットワイラー(COTTWEILER)が、ウィメンズウェア部門では米国代表のガブリエラ・ハースト(GABRIELA HEARST)が優勝を飾ったことをご知らせします。

ザ・ウールマーク・カンパニーの前身である国際羊毛事務局 [IWS (International Wool Secretariat)] によって 1953 年に開始されたインターナショナル・ウールマーク・プライズ。今大会は再び会場をパリに移し、パレ・ド・トーキョーを会場に行われました。

この栄誉あるファッションアワードの優勝者は、ヴィクトリア・ベッカムやルー・ドワイヨンといったファッション業界のトップを飾る顔ぶれや、レクレールやハーヴェイ・ニコルズといった世界を代表するリテーラーのバイヤーなど、輝かしい審査員たちによって選ばれました。日本からは、三越伊勢丹の鈴木健彦氏がメンズウェア部門の審査員として参加しました。

「パリは世界でもっともアイコンックでラグジュアリーなファッションブランドが集まり、流行に敏感で時代の先端をいく消費者のマインドを揺さぶる、ファッションの拠点です。二年ぶりにパリに戻ってきた IWP が、ファッション業界の次代を担う才能にスポットライトを当てました。今回優勝したコットワイラー とガブリエラ・ハースト にお祝い申し上げます。」とザ・ウールマーク・カンパニーのマネージング・ディレクター、スチュアート・マカラックは語っています。

## 【メンズウェア部門】



優勝者：コットワイラー

出身国：イギリス

### コレクション：

メンズウェア部門で優勝した英国代表のコットワイラーのコレクションは、メリノウール製のベースレイヤー、防風性のミッドレイヤー、キルティングを施した防水性のアウターウェア、18.5 から 19.5 マイクロンのウール混素材、そして断熱のために使われる再利用のウールくずで構成されています。

今コレクションは、コットワイラーのブランドコンセプトであるフェティシズムの影響を受けたカルトや種族の慣習を、パディングフード、取り外し可能なカーゴポケット、ランニング・キャップ、伸縮性のある裾や袖口といった現実的なディテールをウールを用いて表現しています。

### 受賞のコメント：

この優勝は今後世界中のより多くの消費者と、私たちの作品を共有する機会を与えてくれます。今回のアワードに参加して素晴らしかったことは、メリノウールの素材がもつ可能性にチャレンジする機会が与えられたことです。私たちはいつも新しい技術を活かしたいと考えている。

### 審査員のコメント：

フッド パイ エアー、クリエイティブ・ディレクターのシェーン・オリバーは「コットワイラーはとてもしリラックスしていて、自分たちの作品に誇りを持っているよ。」と述べています。

## 【ウィメンズウェア部門】



優勝者：ガブリエラ・ハースト

出身国：米国

### コレクション：

ウルグアイで生まれ牧羊場で育ち、現在はニューヨークを拠点とするガブリエラ・ハーストは、ウールの価値を理解し、イノベーションと高いクラフトマンシップが認められました。ハーストの優勝コレクションは、モダンテイストを加えたトレンチコート、プリーツスカート、イブニングドレスなどすっきりしたシルエットで構成されています。コレクションにはスカートとセットになったベースボール・ジャケット、ロングジョン、リバーシブルベスト、サイクリング・パンツが含まれます。

### 受賞のコメント：

「今回の優勝は、デザイナーとして本当に栄誉あることであり、この場に祖父と父がここにいてくれればと思いました。私はメリノウールが未来を担う繊維だと信じていて、この素材を世界中に一層広めるのが楽しみです。」と、ガブリエラ・ハーストは優勝後に述べています。

### 審査員のコメント：

「IWPは、世界中の若いデザイナーに非常に大きなチャンスを与えてくれます。このアワードは、デザイナーとしてウールを使ってどこまでのことができるかを示すものです。私はガブリエラを応援していました。彼女は優勝にふさわしい才能あるデザイナーで、彼女のものの見方や作品、そして強い彼女自身を尊敬しています。今回彼女の優勝の場に携われたことを、光栄に思います。」とヴィクトリア・ベッカムは語っています。

英国ファッション協会の会長、デйм・ナタリー・マスネーDBEは次のように述べています。「私たちがガブリエラを選んだのは、ウールや、ウールの歴史、様々なウールの使い方に対する彼女の情熱が私たちの心に訴えてきたからです。彼女の話す製造過程や生地の特性についての考え方は、大変素晴らしいです。このコレクションをみて、彼女には計り知れない未来があり、ウールの素晴らしいスポークスパーソンになってくれると思いました。」

# Media Release

## 【優勝者には】

優勝賞金 100,000 豪ドルが贈られ、優勝コレクションはウールマーク認証を受けることになります。そしてプライズで発表したカプセルコレクションは世界の名だたるリテーラーで販売されるというのがこのプライズの大きな特徴です。日本では今秋、三越伊勢丹 新宿店で、海外ではプティック1 (UAE)、ブーン・ザ・ショップ (韓国)、デビッド・ジョーンズ (オーストラリア)、ハーヴェイ・ニコルズ (英国)、ハドソンズ・ベイ・カンパニー (カナダ)、レーンクロフォード (香港)、レクレルール (フランス)、MYTHERESA.COM (オンライン)、ザ・パビリオン (インドネシア)、SSENSE (オンライン) など世界を代表するデパートやプティックで販売する機会が与えられます。また、今回のファイナリストたちのコレクションは ORDRE で購入が可能になります。その他にファッション業界のメンターからの継続的なサポートが受けられます。

2016/17IWP 優勝者プロフィール・LOOK 画像、動画のダウンロードはこちらから。

[Download images from the 2016/17 International Woolmark Prize.](#)

[Download the B-Roll footage.](#)

## 【審査員】



この荣誉あるファッション アワードのメンズウェア部門とウィメンズウェア部門の優勝者を決めた 2016/17IWP の審査員は以下のリンクからご覧いただけます。

メンズウェア部門 審査員はこちら。

<https://www.woolmarkprize.com/judges/> (英語)

ウィメンズウェア 部門審査員はこちら。

<https://www.woolmarkprize.com/judges/> (英語)

# Media Release



## 【インターナショナル・ウールマーク・プライズ (IWP) について】

インターナショナル・ウールマーク・プライズ(IWP) は、ザ・ウールマーク・カンパニーの前身である国際羊毛事務局 (IWS, International Wool Secretariat) により、新たな才能発掘のために創設され、1953年に初めて開催しました。1954年にパリで開催された大会では、イヴ・サンローランとカール・ラガーフェルドが優勝しキャリアスタートの一翼を担っています。大会はさらなる世界中のパートナーやリテラー、多くのデザイナーやファッション業界からの継続的なサポートを受け、ますます勢いのあるものになっています。IWPは世界62ヶ国の選ばれたデザイナーが6つのいずれかの地区大会（香港：アジア、シドニー：オーストラリア&ニュージーランド、ロンドン：イギリス諸島、ミラノ：ヨーロッパ、ムンバイ：インド、パキスタン&中東、ニューヨーク：米国）に参加し、グローバル・ファイナル大会へと勝ち進むメンズウェアとウィメンズウェアのファイナリストを選出します。ファイナルへの切符を手にしたデザイナーたちは、地区大会終了後の6~7ヶ月の間に、オーストラリア産メリノウールを使用したカプセルコレクションを製作し、グローバル・ファイナル大会で発表します IWPの詳細はこちらをご覧ください。<http://www.woolmarkprize.com> (英語)

## 【ザ・ウールマーク・カンパニーについて】

ザ・ウールマーク・カンパニーは羊毛のグローバル・オーソリティーであり、テキスタイル・ファッション業界を網羅した国際的かつ膨大なネットワークを通じて、オーストラリアンウールを「究極の天然繊維であり、ラグジュアリーファッションに欠かせない素材」として位置づけています。ウールマークのロゴは世界の誰もが認めるブランドのひとつであり、最高品質の証明です。また同時にこのロゴは、牧羊から完成品に至る過程で先駆的・革新的かつ卓越したものづくりが行われたことを意味しています。ザ・ウールマーク・カンパニーは、非営利法人「オーストラリアン・ウール・イノベーション (AWI)」の子会社です。AWIは24,000以上の牧羊業者の協力を得て、オーストラリアンウールの研究開発とマーケティングに投資し、その世界的なサプライチェーンをサポートしています。

## 【この記事に関するお問い合わせ】

ブランドニュース株式会社

担当：鈴木( [nanako@brand-news.jp](mailto:nanako@brand-news.jp) )

米澤( [rie@brand-news.jp](mailto:rie@brand-news.jp) )

## 【ザ・ウールマーク・カンパニーに関するお問い合わせ】

[mayumi.hayashi@wool.com](mailto:mayumi.hayashi@wool.com)

#woolmark #merinowool #choosewool #woolmarkprize

Facebook : @thewoolmarkcompany.jpn

Twitter: @woolmarkjapan

Instagram: @thewoolmarkcompany